

©Louie Thain

ヴァイオリン/
ヴェロニカ・エーベルレ
Veronika Eberle, Violin

メンデルスゾーン:

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

Felix Mendelssohn: Violin Concerto in E minor, op.64

シューベルト:

交響曲 第8(9)番 ハ長調 D944
「ザ・グレート」

Franz Schubert: Symphony No.8 (9) in C major, D944, "The Great"

管弦楽/兵庫芸術文化センター管弦楽団
Hyogo Performing Arts Center Orchestra

アンドレアス・オッテンザマー 「ザ・グレート」



指揮/
アンドレアス・オッテンザマー
Andreas Ottensamer, Conductor

©Halina Jasinska



兵庫芸術文化センター管弦楽団 第163回定期演奏会

2025 10/10(金)・11(土)・12(日) 開演 3:00PM (開場 2:15PM) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
A席5,000円 B席4,000円 C席2,500円 D席1,000円(全席指定/税込)

ご予約 お問合せ	芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255	10:00AM~5:00PM 月曜休 ※祝日の場合翌日	芸術文化センター会員先行予約受付開始 6/14(土)	一般発売 6/15(日)
インターネット予約	■芸術文化センター https://www.gcenter-hyogo.jp ■チケットぴあ https://pia.jp/t/ ■ローソンチケット https://l-tike.com	■イープラス https://eplus.jp	直接購入	芸術文化センター2階総合カウンター (6/17(火)より、残席がある場合のみ)

※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
©主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第163回定期演奏会

HYOGO
PAC Performing Arts Center
ORCHESTRA

わずか21歳でベルリン・フィル首席クラリネット奏者に就任し、以来、ソリストとして、また近年は指揮者としても華々しい活躍を続けている若きスター、アンドレアス・オッテンザマー。今年2月末にベルリン・フィルを退団し、指揮活動をさらに本格化させる彼が、PACに初登場します！

まずは、世界トップクラスの楽団と共演を重ねる実力派ヴァイオリニスト、ヴェロニカ・エーベルレをソリストに迎え、ヴァイオリン協奏曲の王道、メンデルスゾーンを披露します。彼女はサイモン・ラトルに抜擢され2006年のザルツブルク音楽祭にてわずか16歳でベルリン・フィルと共演し、世界中を驚かせた才能の持ち主。完璧な技術に裏打ちされた、気品あふれる美しい音色を十分に堪能できるでしょう。

後半に演奏するのは、ウィーンで活躍したシューベルトの大曲、交響曲第8(9)番「ザ・グレート」です。作曲者の死後10年以上が経ってからシューマンが楽譜を発見し、その完成度に驚いた彼がメンデルスゾーンに薦めたことにより初演されたというのはあまりにも有名なエピソード。シューマンが「天国的に長い」と評したこの壮大な交響曲を、シューベルトと同じくウィーン生まれのオッテンザマーが今どのように響かせるのか、ぜひお楽しみに。



指揮 アンドレアス・オッテンザマー Andreas Ottensamer, Conductor

クラリネット奏者、芸術監督、指揮者として、その卓越した音楽性と多才さで聴衆と批評家を魅了してやまない。NHK交響楽団への指揮デビュー、モントリオール・メトロポリタン管弦楽団のアーティスト・イン・レジデンスなど活躍の場を広げている。リッカルド・ムーティ、ヤープ・ファン・ズヴェーデン等に指揮のマスタークラスを受講。2022年12月には、イタリア・ラヴェンナのイタリア・オペラ・アカデミーでリッカルド・ムーティとヴェルディ作曲「レクイエム」に取り組み、2023年3月には東京・春・音楽祭にてリッカルド・ムーティ「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京《仮面舞踏会》」に指揮受講生として参加。1989年ウィーン生まれ。10歳でウィーン音楽大学にてチェロを学び、2003年にクラリネットに転向。2009年にはハーバード大学在学中にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団カラヤン・アカデミーの奨学生となる。2011年より2025年2月末までベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席クラリネット奏者。



ヴァイオリン ヴェロニカ・エーベルレ Veronika Eberle, Violin

比類なき技術と洗練された音楽性で聴衆を魅了するヴァイオリニスト。サイモン・ラトルの熱烈な推薦を受け、16歳という若さでベルリン・フィルハーモニー管弦楽団にデビュー。ザルツブルク音楽祭においてベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を鮮やかに奏で上げ、音楽界に衝撃を与えた。以来、ロンドン交響楽団、ロイヤル・コンサートgebouw管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニックをはじめとする世界最高峰のオーケストラと、ラトル、ハイティンク、ハーディングといった名だたる指揮者と共演を重ねている。近年では、ブダペスト祝祭管弦楽団(イヴァン・フィッシャー指揮)、デトロイト交響楽団(レナード・スラットキン指揮)といった世界の名門オーケストラとの共演に加え、バイエルン放送交響楽団(ラトル指揮)、アトランタ交響楽団(ナタリー・シュトゥッツマン指揮)との再共演など、その活躍の場をさらに広げている。ドイツ生まれ。6歳からヴァイオリンを始め、ミュンヘン音楽大学でアナ・チュマチェンコの下で研鑽を積んだ。ラインホルト・ヴェルツ音楽財団から貸与されている1693年製ストラディバリウス「リース」を使用。

兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西西元文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ペンクラブ賞受賞。通称PAC(バック)オーケストラ。 [https:// hpac-orc.jp](https://hpac-orc.jp)



PAC公式SNS



@HPACorchestra



@hpac_orchestra



@hpac_orchestra



YouTube



<https://www.gcenter-hyogo.jp>
兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

